

平成18年度 第2回浦安市学校給食センター運営委員会会議議事録(議事概要)

1. 開催日時 平成18年12月21日(木) 午後1時30分～午後3時
2. 開催場所 浦安市千鳥学校給食センター 2階会議室
3. 出席者
(委員) 村上委員、篠田委員、江崎委員、河田委員、川島委員、前澤委員、金子委員、鈴木委員、畑中委員、森泉委員、豊島委員、塚本委員、
(教育委員会) 西谷教育長、鞠山学務課主幹、鶴見センター所長
(事務局) 宇田川副主幹、恒松主査、加藤栄養士、三好栄養士、深美栄養士
4. 欠席者
(委員) 浦井委員、奥村委員、和島委員
5. 会議内容
 - (1) 学校給食センター給食費対策について
 - (2) 食物アレルギー対応食事業の開始について
 - (3) その他
 - ・学校給食における納入業者による産地偽装について

○会議内容について

- (1) 学校給食センター給食費対策について
事務局より資料に基づき説明。質問・意見及び回答は以下のとおり
Q：学校でお知らせを配布した後の反応は。効果はあったのか？
A：センターに確認の連絡が入ってきている。また、支払いに来所する保護者も出てきている。徐々に広がる雰囲気はあるのではと思う。
Q：銀行口座からの引き落としは月に一度ではなく、随時出来るように体制を考えてはどうか？(協力体制を仰いでみては・・・)
A：現状は月に1回です。給食を食べた翌月の末日に引き落としになる。
Q：全く払っていない人や、忘れて払わなかった人等との連絡は取れているのか。また、ランク付けはしているのか。
A：連絡は出来ていない。個人情報のため学校で教えてもらえないこともあり、直接家に伺うしかなく、啓発の意味も兼ねて不在表を入れてくる。連絡がつかない人はどちらかといえば多い。把握によるランク付けはできていない。
Q：キャンペーンの連絡等はどのように行っているのか。また、対象年度はいつか。
A：子供から親に渡っている。対象年度は平成16年度から平成18年度。
意見：全体の徴収率から考えると未納はたった4.2%である。徴収員が訪問した家の回数によってリストアップをした上で、その中で理由分けをし、集中的に徴収できない人を絞るようにした方がよい。払えないのではなく、払いたくない等の理由の

人達をもっと追及すべきである。学校に権限を与えて担任に話をしてもらうようにするとか・・・ キャンペーンの目的がはっきりしていない。

意見：徴収員1名が市内を回るよりも学校内のイベント等に参加して保護者に直接交渉するのはどうか。

(2) 食物アレルギー対応食事業の開始について

A：生命に関わるアレルギーの程度とはどのようなものか。申込者の中では何人位いるのか。

Q：アナフィラキシーショックを重いケースと考えている。数名は該当者がいる。

A：アレルギーでキウイフルーツが多いと聞くが対応はしないのか。

Q：果物の対応はしない。今回は卵・乳製品（牛乳含む）のみで行う。以前に実施した「食物アレルギーに関するアンケート調査」での食物アレルギーの中でも卵・乳製品（牛乳含む）をアレルギーとしている児童が多いという結果を踏まえての実施としている。

補足：今までの対応は、食品材料一覧表を希望している保護者に渡し、保護者が判断をしていた。

Q：平成18年度は、平成17年度からの準備期間を経ても開始が平成19年1月であった。平成19年度は4月から対応できると良いと思う。

A：新しい施設であり、人事異動により4月に市の栄養士が担当（H17は県の栄養士が準備を進めてきた）ということで、体制を整える準備期間が必要であった。

(3) その他

・学校給食における納入業者による産地偽造について

Q：どのようにして発覚したのか。3ヶ月も時間がかかったのは何故か。

A：浦安市では給食用食材の中でも「生肉」については国産のものと指定しているが、国産ではないとの情報提供があった。情報の確認作業をするために時間を要した。
※警察への提出書類（過去のものも含めての証明書類等）がかなり多く、一度の要求ではなかったため期間を要したものである。

12/11に受理されたので、年明けに調査に入ると思われる。